

普段とは違う視点から見た23区、  
知ればもっと面白い!

# クマなく さんぽ



文京区

## 熊本藩細川家ゆかりの庭園

江戸末期、肥後細川庭園一帯は、熊本藩細川家の下屋敷でした。明治15年には細川家の本邸になりましたが、その後は東京都が買収し、昭和36年に都立公園として開園した後、昭和50年に文京区に移管されました。

大きな池の周りに小道を巡らし、築山や庭石、橋、灯籠などを設けた池泉回遊式の庭園は、明治から変わらぬ風情をたたえています。熊本藩最後の御用絵師であった杉谷雪樵が庭園を描いた作品には、「小嵐山図」というタイトルが付けられており、京都の嵐山を模して造られた庭であることが伺えます。

## 大正ロマンの香り漂う松聲閣

細川家の学問所であったといわれる松聲閣は、大正時代に改修を行いました。老朽化が進んだため、耐震性の確保と歴史性を活かした保存を目的とした修復が施され、平成28年にリニューアルオープンしました。工事は、過去の写真や図面を参考にして進められました。可能な限り既存の木材を使用し、外壁には過去の写真から判明した下見板張りをを用いるなどして、大正時代の趣きを蘇らせています。

現在の松聲閣は、1階が集会室、2階が展望所になっており、誰でも利用することができます。2階の展望所からは庭園を一望でき、移りゆく四季折々の風景を楽しむことができます。

## 文京の地で楽しむ歴史散歩

「肥後細川庭園」という名称は、平成29年に一般公募により選定され、それまでの「新江戸川公園」から変更されたものです。園内では、江戸時代から品種改良を重ねてきた熊本独特の花である「肥後六花」のうち、肥後椿、肥後芍薬、肥後花菖蒲、肥後山茶花の4つを見ることができます。松聲閣の各部屋にも肥後六花にちなんだ名前がつけられており、この土地と熊本との深い繋がりを感じます。

かつて下屋敷だった土地には、「和敬塾本館(旧細川侯爵邸)」や、細川家に伝来する美術品を収蔵する「永青文庫」があります。近隣にも、松尾芭蕉が住んでいた「関口芭蕉庵」など、歴史と文化に触れられるスポットが点在しています。文京区に多く残る自然のなかで、歴史と文化のスポット巡りを楽しんでみてください。

## 幕末の熊本藩下屋敷 熊本藩細川家の学問所 「肥後細川庭園 松聲閣」

京都・嵐山の縮景として造られた、肥後熊本細川侯下屋敷跡「肥後細川庭園」と、そこに残るもと学問所「松聲閣」。江戸、明治、大正の時代を感じる、熊本藩ゆかりの施設です。



松の雪吊りは冬の風物詩。桜、菖蒲、紅葉と四季の風景を楽しめる。



↑2階の回遊式展望所「山茶花」

←車寄せが特徴的な玄関

## 庭園内では さまざまなイベントを開催しています。

邸宅で見るアンティーク着物展Ⅶ  
「花リレー」～いきものとともに～

11月2日(土)13:00～18:00(17:30最終入場)

3日(日・祝)4日(月・休)10:30～18:00(17:30最終入場)

場所:松聲閣 参加費:500円 ※小学生以下無料

秋の紅葉ライトアップ  
一ひごあかり

11月23日(土・祝)～12月1日(日)

17:30～21:00

(20:30最終入場)※小雨決行

参加費:300円 ※未就学児無料



## 文京区立 肥後細川庭園 松聲閣

所在地 文京区目白台1-1-22

開園時間 庭園 2月～10月 9:00～17:00(入園は16:30まで)

11月～1月 9:00～16:30(入園は16:00まで)

松聲閣 9:00～21:00(展望所は17:00まで)

休園日 12月28日から1月4日

入園料 無料(松聲閣の施設利用料金は別途)

アクセス 都電荒川線早稲田駅より徒歩5分

東京メトロ有楽町線・江戸川橋駅または東西線・早稲田駅より徒歩15分

B一ぐる・目白台一丁目より徒歩5分

都営バス早稲田より徒歩5分または

都営バスホテル椿山荘東京前より徒歩7分

お問い合わせ 03-3941-2010

※駐車場はございません

